

みずほ

発行/瑞穂町 編集/秘書広報課 毎月1回1日発行
 〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎2335
 ☎ 042(557)0501(代表)
 ホームページ <http://www.town.mizuho.tokyo.jp/>

人口と世帯 人口 33,863人 (5人減)
 男 17,295人 (5人増)
 女 16,568人 (10人減)
 12月1日現在 世帯 13,128 (10世帯増)
 ()は前月比 外国人登録数 672人

No.540



地域子ども教室「^{ひら}運風づくり」から

おもな内容

年頭のあいさつ		2 ~ 3
みずほ伝言板	老人医療費についてみんなで考えてみましょう 確定申告のご準備を 嘱託員と臨時職員(登録者)の募集 4月からごみの分別が一部変わります 瑞穂町国民保護計画へのご意見募集 平和のメッセージ募集 ほか	4 ~ 8
福祉	心身障害者(児)交通費等助成金支給事業 福祉用具(特殊寝台)の購入費助成 ほか	9 ~ 11
インフォメーション	年金教育資金貸付制度 ほか	14 ~ 16
教育委員会からのお知らせ	小・中学校入学予定者保護者会 不惑の集い ほか	17 ~ 20

あいさつ

変革の時代を迎えて



瑞穂町長

石塚幸右衛門

あけましておめでとう
ございます。皆様にはお
健やかに新年を迎えられ
たこととお喜び申し上げます。
この一年が皆様にとり
まして幸多き年となりま
すよう、心よりお祈り申
し上げます。

町を取り巻く大きな変革
世界に誇る長寿国日本は、高
齢者の増加に対して子どもの出
生率が低下している問題に対処
するために、介護制度や医療制
度などの社会保障制度全体の改
革の最中にあります。これまで
日本経済を支えていた団塊の世
代が退職期を迎え、技能や経験
を社会がどのように受け継ぐの
か、また出生率がなかなか回復
しない中で、これからの日本社
会をどう支えるのが課題とな
っています。
本年も75歳以上の後期高齢者
を支えるための医療制度改革が
始まるうとしておりますが、こ
れらの新しい制度を支える主役
は、国から地方自治体に移ろつ
としていくのです。身近な行政
の力量が求められており、地方
自治体がまさに地方政府に転換
する大きな変革の流れにあると
いっても過言ではありません。

変革に対応するために
このような変革の時代に適切
に対応するため、財源をより有
効に使う仕組みを考える行政改
革や行政活動に関する情報の公
開、各種事業の有効性を確認す
る行政評価など、行政自身が努
力しなくてはなりません。また、
町民の皆様と行政が協働してま
ちづくりを進めることがこれま
で以上に重要となります。
昨年十一月には地域コミュニ
ティの増進を図るため、武蔵野
地区に続き、元狭山地区にコミ
ュニティセンターをオープンし
ました。さらに、本年は、将来
を担う児童・生徒が通う学校の
安全性を確保するための耐震補
強工事ははじめ、土地区画整理
事業などの都市基盤整備を推進
するほか、長期総合計画後期基
本計画の実現に向け、費用対効
果を検証しながら行財政運営を
行います。

子どもたちの将来に備えて
将来を担う子どもたちの健全
な育成を願い、児童・生徒やそ
の保護者の皆様が、身近に相談
できる機能を強化し、教育に関
するさまざまな問題に即応でき
る体制を整えるところにも、児
童・生徒が経済的理由で修学の
機会を失われることが無いよう
新たな施策を実行いたします。

私たちの身の回りでは、地方
自治の大きな変革だけではな
く、防犯や防災など、住民と行
政の協働無くしては成り立たな
い地域力を問われております。
また横田基地の軍民共用化問題
についても日米協議の動向に注
意を払わなくてはなりません。

将来に向かって、大きな希望
を見いだす良い年とするため、
本年も町民の皆様のご理解とご
協力を賜りますようお願い申し
上げ、年頭のごあいさつといた
します。

年頭の

平成19年
亥年

子どもから高齢者まで

夢と生きがいを持てるまちに

瑞穂町議会議員

原成兆

新年あけましておめでとございます。謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

国内外の社会情勢

昨年は、拉致問題が解決を見ない中、七月に北朝鮮が七発ものミサイルを発射し世界を震撼させ、十一月には核実験を行ったとの報道もあり、東アジア地域において不安定な社会情勢となっておりま。こうした中、米国では世界規模での軍の再編を行い、今後、わが国にも大きな影響が予想されます。恒久平

和は全人類の願いであり、そのために知恵を出し合い、努力しなければと強く思う次第です。

国内に目を転ずると、日本経済は、大企業を中心に景気が回復傾向との報道もありますが、個人所得は伸びが見られず、消費においても鈍化している状況であります。そうした中、小・中学校でのいじめ、また、このことが原因と思われる自殺が全国各地で大きな社会問題となつた年でありました。一方、国会で天皇家の皇位継承問題が議論されている折、九月には秋篠宮家に悠仁親王殿下が御誕生されるなどの、明るいニュースもありました。

町の取り組み

在日米軍の再編に伴い、横田基地に自衛隊移駐計画が発表され、町では全国に先がけて、概ね容認との発表をいたしました。共同使用については、基地の変化も予想され、その動きを

注視しなければと思っております。

昨年二月には高齢者の就業を促進し能力を生かすべき施設「シルバークラブ」が、また、十二月には町で二カ所目となる「元狭山コミュニティセンター」がオープンし、地域社会のコミュニケーションが希薄化している今日、その有効利用が図られ、地域の活性化に貢献するものと思われま。一方、七月には国際化のステップとして、米国のモーガンヒル市との末永い交流を誓い、姉妹都市を締結しました。また、多摩・島しょ子ども体験塾事業では、小・中学生が世界遺産候補地である小笠原諸島を訪れ、自然体験や環境学習を行ってきました。昨年は、インフラ整備およびソフト面での事業が推進されましたが、本年も町民の皆様の大事な税金を有効に使い、生活しやすいまちづくりに努力せねばと思う次第です。

議会のあり方

昨年は、町側の提案に対し、多くの質問・質疑を行う一方で、議員のあり方・議会活動について数多く議論を行うてまいりました。全国的には、北海道の夕張市が財政再建団体に陥るなど、財政悪化をきたしている自治体が多く報道された年でありました。本年は四月に町議会議員選挙が行われ、新しい議員構成となりますが、町民へのサービスの低下を招くことなく、かつ、健全な財政運営のためのチェック、また、多くの町民の声を町政に反映させるべく、議会・議員として一層の工夫と決断力をもって最善の努力をしてみたいります。

本年も、町民の皆様のご指導ごべんたつをお願い申し上げますとともに、ますますのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

